

軽井沢移動教室日記④(3日目)

3日目の朝、やはり小雨が降っていたので、朝会はレクホールで行いました。さすがに昨夜は疲れていたらしく、9時消灯とともに子どもたちはぐっすり夢の中。6時の起床まで熟睡でした。

朝会が終わると、帰り支度です。布団をきちん畳んで部屋の隅に重ね、シーツと枕カバーを所定のところに出します。自分の荷物を整理し、部屋を掃除します。その合間を縫って、食事係は、食事の用意をします。さすがに4回目、手慣れたものです。あつという間に用意をしてしまいました。その働きぶりに、宿舎の方からもお褒めの言葉をいただきました。

朝食の後、部屋の整理整頓具合を、先生方にチェックを受けます。どの部屋も落ち着いて取り組んでおり、大きな直しもなく合格をもらっていました。立派だったと思います。

天気良ければ、浅間山が宿舎からきれいに見えるのですが、今回は残念ながら、最後まで見えませんでした。



閉園式を行った後、少年自然の家を後にし、最初の体験は、JA佐久浅間でのキャベツの収穫です。JAの担当の方と、キャベツ畑に行き、そこで一人ひとつキャベツを採りました。よい畑の土はとても柔らかいです。そのため、靴にスーパーの袋でカバーをして入りました。新鮮なキャベツは見た目にも瑞々しく、葉もシャキツとしていました。採れたてのキャベツを、ぜひその日のうちに味わってほしいです。

キャベツの収穫の後には、最後の見学地、群馬県立自然史博物館に行きました。現地に着いたら、まずお昼を食べ、そして見学をしました。館内の展示物がとても面白く、特に、恐竜の展示物は実際に動きとても迫力がありました。見学の時間が短く、「もう少し見たかったな・・・」というのが、子どもたちの感想でした。

そして、学校への帰途につきました。帰り道は渋滞もなく、時間通りに学校へ到着しました。バスの中、子どもたちは、「もっと軽井沢にいたかったな」「渋滞起こればいいのに」「またみんなと移動教室にすぐに行きたいな」とつぶやいていました。

出発する前は、初めての宿泊に不安を感じていた子どもが多かったのですが、3日間のいろいろな体験を通して、どの子も自信に満ちた顔になりました。自分も楽しみ、みんなも楽しむ・・・そのためには、相手を思いやる気持ちが大切です。その心が5年生はしっかりと育っていました。また、時間を守る、仲間と行動する、係の仕事を責任をもって行う・・・など、ルールやマナーを守る姿勢も素晴らしかったです。高学年としての姿が、とても頼もしく思えました。緑野小自慢の5年生として、これからの活躍がますます楽しみです。

